

【奥州前沢劇場】

胆沢劇場を手本にスタート。
それぞれの開催時期をずらし、交流を

■佐々木 努さん (45)
=第10回奥州前沢劇場 脚本・舞台監督=

前沢劇場の第1回の立ち上げ時に、事務局と脚色の立場で奔走しました。第2回以降も脚本や舞台監督などで携わり、今回の第10回は脚本と舞台監督を担当しました。

立ち上げのきっかけは、「前沢でも胆沢のような取り組みができないか」という声でした。「町をあげて何かをつくる」ということで、「町の活性化の起爆剤になれば」との思いでした。ゼロからのスタートでしたので、胆沢劇場をお手本にさせていただきました。脚本は決まっていたのですが、大道具、小道具、照明などのような段取りを進めていくかなど、胆沢の担当の方に教えていただきました。

わたしはとにかく、前沢という町から若い役者や演出家、脚本家などがどんどん出てきてほしいとの思いを持っています。前沢劇場はキャスト・スタッフの年齢が上がってきて、固定化しつつあるのが気掛りですが、区内外からたくさんの方が集まって演劇をつくり上げています。県外から見に来てくれるお客さんもおり、「良かったよ」と褒めてくれることが何よりの励みです。

今は市内3つの劇場が同じ時期に開催しています。時期をずらすことで、それぞれの劇場間の交流が出てきて、面白いと思います。



■高野 誠司さん (54)
=奥州市民☆文士劇実行委員長=
江刺は市民参加型文化活動の土壌がなく、その分野では遅れていました。合併前の記念事業として市から委託を受け「エサシウタノチカラ」に取り組んだのが始まりです。江刺に古くから伝わる民話を題材に、郷土芸能や合唱、生演奏を取り入れた総勢450人、まさに江刺市民総出の舞台を披露しました。

大成功に終わり、区民からまたやってほしいという要望があったため、当会が江刺体育文化会館の指定管理者となってから、奥州市民☆文士劇として再開。ことして3回目の公演となりました。



【奥州市民☆文士劇】

5区それぞれが輝くことを願い、
日本唯一の市民☆文士劇で元気発信

この「☆」には、5つの頂点を旧5市町村に見立てて、5区それぞれが輝くことが大事だという意味を込めています。

ただまねるだけでなく、後発として、どこにも無い独創的な取り組みを目指しています。

日本で唯一残っている盛岡文士劇の力を借りながら、あくまで市民が主体というまさしく日本唯一の「市民☆文士劇」です。「市民の人が喜んでくれるといいな」「元気を発信しよう」と頑張っています。胆沢さん、前沢さん、それぞれ独自のスタンス・感覚で共存していくべきです。競うのではなく、刺激し合う関係であれば最高ですね。

市民参加型
文化活動を
考える

一家で「劇場」に 取り組んだ 家族の声

千田 知也さん (34)
理子さん (34)
命華ちゃん (10)
湖子ちゃん (8)
奈乃ちゃん (4)

=胆沢区南都田字漆町=
【理子さん考案の26回ポスター
と一緒に】



the Voice

26年続いている胆沢劇場。親と子など、家族での参加者も多い。

◎知也さん

第19回の時から26回まで、大道具スタッフとして参加しています。21、23、25回では助監督として、制作部にも携わりました。つくるのが好きなので、遊びに行っているようなものです。ほかの人としゃべるために行ったりとか。今回はセットが多くて大変でしたが、いつも楽しく参加しています。

◎理子さん

【26回公演ポスター原案考案】
水沢区真城出身で、中学生の時、第6回公演を初めて鑑賞しました。結婚後、再び胆沢劇場を鑑賞し、本格的になっていてすごいと感じました。普通の素人がやっているとは思えませんでしたよ。今回、ポスター作品に初めて応募し、採用作品に選ばれました。衣装・化粧スタッフとして、初めて劇場にも参加してみました。夫がとても楽

しそうに参加しているのを見て、うらやましく思っていました。やっぱり楽しかったですね。初めて現場に入り、本当に全部手づくりであることを目の当たりにし、改めてすごいと思いました。参加すると、より感動しますね。そのうち「町劇」にドップリと浸かってみたいです。

みんなお父さんっ子なのですが、劇場期間中は全然会えなくなって寂しかったです。公演が終わった次の日は、親子で劇場のことを半日ぐらい話込んでいましたよ。子どもたちは、お父さんの背中を見て、出てみたいと思うようになったと思います。

今後もどんどんやってもらえるといいですね。冬期間の送り迎えは大変な面もありますが、協力していきたいです。おじいさんが入院していて本番を見ることができなかったのが、残念

です。

◎長女・命華ちゃん

公演を見ているうちに自分も出てみたいと思うようになって、おとしコーラス役で初めて参加しました。去年とことしは役で出演。練習が夜遅くまでかかって寝不足になったけど、お客さんが笑ったり泣いたりしてくれて、とても楽しかったです。

◎次女・湖子ちゃん

【「和子」の大役を演じ切った】
2年生になり、ことし初めて子役で参加しました。セリフがいっぱいあって、練習が大変だったけど、「上手だったよ」「可愛かったよ」「何歳なの?」とお客さんに声を掛けてもらいました。表情とかがうまくできたと思います。

◎3女・奈乃ちゃん

「早く出たい」と、小学生になるのを心待ちにしています。